

冬の夜空を見てみよう ~5年生の理科放送から~

5年団の理科放送では、冬の植物の様子と冬の夜空に輝く星について紹介してくれました。

植物って、いろいろな姿で冬を越していることを教えてくれました。例えば、秋には黄色い葉っぱがきれいだっただけのイチョウは葉っぱ1枚無い姿です。学級園の近くにあるセイヨウヒイラギは葉っぱに加えて真っ赤な実がたくさんついていました。(今は葉っぱだけだそうです) 畑のダイコンやホウレンソウは緑色の葉



が元気に育っています。こうしてみると、本当にいろいろな姿で冬を過ごしているんだとわかります。

今、とても寒い日が続いています。なかなか夜空を見ることはないでしょうが晴れの日にはちょっと見上げてみませんか。5年団は代表的な星や星座をたくさん紹介してくれました。(写真で紹介したいけれど、印刷すると真っ黒で見えにくいので写真無しです。ごめんなさい。) 南の空にはオリオン座がきれいにみえます。

北の空には北斗七星も出ています。ちょっと見つけるのが難しいかもしれません。星の中心といわれる北極星も見つかるかも。よ〜く見ると色や明るさもちがったたくさんの星たちが見えてきますよ。

かな 悲しいけれど、うれしかったこと

先日、2年生の近くを歩いていると、黄帽の中を見ている子どもたちがありました。帽子の中には10cmほどの長さのサクラの枝が何本かありました。聞くと、上級生のボールが当たって折れてしまった枝ということです。「もうすぐ花がさく準備をしているのに、かわいそう」そんなことを話しながらさびしそうな顔をしていました。きっとこの子どもたちは、折れてしまった枝をそのままにできず拾い集めて教室まで持ってきたのでしょう。折れてしまったサクラの枝は、見た目は葉もない枯れ枝のようです。でも、高須小学校の子どもたちは2年生でも知っています。葉っぱがなくても、枯れているんじゃない、春に向けて準備をしているサクラのことを。小さく膨らんできている花芽(はなめ、かが)を見つけています。昨年度、4年団の理科放送に下のよう場面がありました。

折れてしまった枝の花は咲くことはないでしょうが、自然の事象に目を向け、感じる力が育っていることを嬉しく思いました。

本校の学校教育目標「豊かな心と確かな力でたくましく生きる高須の子」に向かう一つの姿を見たような気がしました。

ソメイヨシノ



芽の種類

花芽(はなめ・かが)

成長すれば花🌸になり、やがて実(み)になる。
→ふっくらと丸みをおびている

葉芽(はめ・ようが)

成長すれば葉🍃になり、やがて枝(えだ)になる。
→細長くとがっている